

〔伊呂波字類抄〕保人事崩ホウス

〔和爾雅〕死シス天子死曰崩ホウ

〔釋名〕八喪制天子曰崩崩壞之形也崩礮聲也

〔下學集〕下態ホウ藝キョ崩御ホウキョ指指天子天子之辭之辭世世

〔海人藻芥〕諒闇忌中事也國王ハ崩御

〔日本書紀〕神武七十有六年三月甲辰天皇崩于樞原宮

〔日本書紀〕七景行四十年十月癸丑日本武尊發路之略中既而崩于能褒野時年三十略中是歲天皇踐祚四十二年焉

〔日本書紀〕九神功六十九年四月丁丑皇太后神崩於稚櫻宮

〔續日本紀〕九孝謙天平勝寶六年七月壬子太皇太后原文武后藤原宮子娘崩於中宮

〔古今著聞集〕十六興言利日四條院崩御のとき醍醐大僧正の弟子何がし房とかやいひける僧大僧正

のもとへ消息をやるとしてさんぬる九日國王俄に死去云々尤ふびんの事歟と書たりけるふし

なる文章成かし僧正腹腸を切て其狀を人に見せられけるとなん

〔伊呂波字類抄〕安人事安晏駕一作暹霞帝者崩謂之晏駕

〔下學集〕下態ア藝カ晏駕者臣子之心猶謂宮車晚出也以上皆指天子辭世也

〔塵袋〕九一帝ノ崩ズルヲ晏駕ト云フハ心如何

史記宮車一日晏駕云々韋昭云凡初崩爲晏駕者臣子之心猶謂宮車當駕而脫出トイヘリ晏ハラ

ンキナリカエテタマフベギミナドヲソキノトオホユル心ニヤ

〔海人藻芥〕晏駕帝王ノ崩御也

〔下學集〕下態ト藝ウ登仙トウセン登霞トウカ

〔下學集〕下態ト藝ウ登仙トウセン登霞トウカ